

My Life, My Hula

MO'OLEMO O ALOHALANI vol.4

フラを習っている人にどうしたら上手に踊れるのか、どうしたら振りを憶えられるのかとよく聞かれます。私は昔から感覚人間で、説明は出来ないけれどなんとなく出来る事が多いので、いざ説明しようと思うと言葉に詰まってしまう。でもただ言えることは、フラが好きという気持ちで音楽に合わせて踊っていることです。当たり前のように思えますが、これが結構難しいのです。他のジャンルは体全体でリズムを感じながら踊るけれど、フラは全身でリズムを刻むことは決してしません。リズムを感じるのは足と腰だけ、そして上半身(特に手)は歌詞を表現して踊ります。それが分かったのは大分経ってからのことです。

私の両親はハワイアン好きで小さい頃から家にはハワイアン音楽がかかっていました。土曜日は両親のバンド仲間が家に集まり夜遅くまで練習していたため、私にとってハワイアンは子守歌でした。母は私が中学生の頃にフラを習い始め「まきちゃんもやりなさいよ」と言われスタジオに見学に行ったこともありましたが、でも、どうしても私にはおばさま達が健康の為に踊るものと思えず、習うことを拒否していました。そんなある日、母が知り合いの方に頂いた一本のビデオで私の心は大きく動かされました。それはMakaha sons of Ni'ihauのライブビデオでした。髪長い女の子が優雅に踊っているのを見てショックを受けました。これがハワイの本当のフラなんだと・・・。そして18歳の8月、カリマ直子先生のスタジオに通い始めました。

私が初めてフラのレッスンを受けたとき、先生のレイをかける顔の表情と手の動きに目を奪われたことを憶えています。それは本当に優雅で、手から優しさが溢れて、良い香りの生のレイが見えました。フラとは想像して踊っていることが、見ている人にも伝わってしまうのです。今までのフラのイメージが一変し、私もいつかあんな風に踊れたらと思いました。その頃は、オペラ歌手になる夢を持ち音大で声楽を勉強していましたが、その日からピアノの前で唄うより鏡の前で踊る方が多くなりました。ただただ楽しくて毎日が新鮮でした。それが私のフラとの出逢いです。そんな私を見て大学の友人は「ええ？フラダンス？」と声楽家とフラが繋がらないようでした。私も当時はそう思っていました。でもそれは今思えば、すべてが一本の線につながっていたのです。ピアノをやっていたこと、劇団に入っていたこと、声楽をやっていたこと、そう言ったことすべてがハワイアン音楽とフラに必要なことです。一生自分のやりたいことが見つからない人も多い中、私は18歳から今日まで、フラを通したくさんの人と出会い、学び、心の豊かさを教わりました。

日本にもたくさんのフラ愛好家がありますが、フラをやっている人も少ないように思

ます。最近気づいたのですが、フラを踊ることは歌うことと同じなのです。前にも書きましたが上半身は歌を歌うのです。歌い手がプレスが必要なのと同じでフラも呼吸感が必要、上半身は揺れないようにしっかり支えて曲に合わせてたっぷりと全身で歌い踊ります。そして手の振りは形で覚えるのではなく歌詞の意味を理解して踊ります。そうすることで何倍も早く振りが覚えられます。フラは振り覚えてからが本当の楽しさ、表情を付けて情景を想像して踊ります。そこには上手に踊ろうとか笑顔で踊らなくてはとか、そんな気持ちはありません。一つ一つのステップと振りを大切に踊れば、それでいいのだと思います。そしてC Dで踊るのもいいですが、やはりライブで踊るのは一番の楽しさだと思います。リハーサルなしでもミュージシャンとダンサーの呼吸感がピッタリ合ったとき、ハワイの空気が流れる、そんな気がします。私はよく山内雄喜さんと一緒にライブをする事がありますが、彼の音は本当に暖かく優しい演奏です。大好きな山内さんの音と一緒に踊るフラが私が一番好きです。まさにお互いの呼吸を大切に出来る、それって演奏する上で一番の思いやりですよね。今回はよく山内さんとライブである曲「Hi'ilawe」を紹介します。

Hi'ilawe Traditional

Kumaka ka 'ikena ia Hi'ilawe
Ka papa lihi mai a'o Maukele

ヒイラベの滝を実際に見ると
平地マウケレは輝いて見える

Pakele mai au i ka nui manu
Hauwala'au nei puni Waipio

たくさんの鳥達から逃げたい
ワイピオでうわさ話をしている

A'ole no wau e loa'a mai
A he uhiwai au no ke kuahiwi

私はつかまらない
なぜなら霧の多い山にいるから

He hiwahiwa au na ka maka
A he lei 'a'i na ke kupuna

私の大切な両親へ
祖母の首にレイを(孫を抱くように)

No puna ke 'ala i hali 'ia mai
Noho i ka wai'ele a'o Hi'ilawe

ブナからのふんわりとした風を運んで
ヒイラベの滝の場所にする

Ha'ina 'ia mai ana ka puana
Kumaka ka 'ikena ia Hi'ilawe

この物語をつたえます
ヒイラベの滝を実際に見ると

CD Information

まきさんのボーカルをメインにしたアルバム「HAWAIIANA」シリーズ3作目が早くもリリース決定！タイトルは、「HAWAIIANA "Bossa Nova Suite"」。ちょっとボサノヴァの香りがただよう作品になるそう。まきさんのポルトガル語で歌う「イバナメの娘」は必聴。7月の発売が待ち遠しい！



HAWAIIANA
"Classic Suite"
GOCU-4001 ¥2,500(税別)



HAWAIIANA
"Classic Suite II"
GOCU-4002 ¥2,500(税別)



HAWAIIANA
"Bossa Nova Suite"
GOCU-4003 ¥2,500(税別)

essay 上原 まき UEHARA MAKI

フラの世界ではマドンナの存在のフラ・ダンサー。また山内雄喜&ザ・バイナッブル・シュガー・ハワイアン・バンドではフラも踊れるミュージシャンとして参加する。上原まきさんの最新ライブ活動は、下記のホームページをチェック！

<http://www.asahi-net.or.jp/~m8yuehr/>